

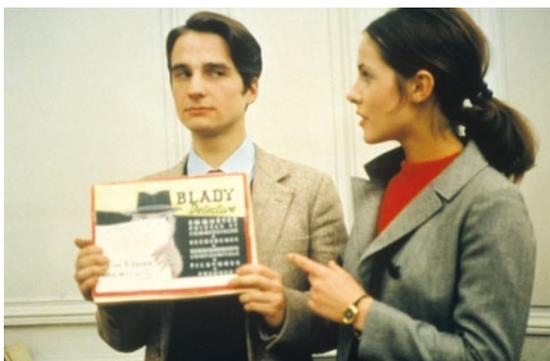
【展示】「ふたりの喧嘩は三人目の愉しみ」©1969 LES FILMS DU CARROUSEL



【映画】「ヌレエフ」©1970 LES FILMS DU CARROUSEL



【展示】「二人の恋」©1962 LES FILMS DU CARROUSEL



【展示】「二人の恋」©1962 LES FILMS DU CARROUSEL



【展示】「二人の恋」©1962 LES FILMS DU CARROUSEL



modern art + film screening  
Takeshi FUJIMURA & Sayaka UCHINO

# While Two Dispute, the Third Enjoys

現代アート展 + 映画上映  
藤村豪 & 内野清香

## ふたりの喧嘩は 三人目の愉しみ

2014.12.12 (fri) – 12.28 (sun)

川崎市市民ミュージアム kawasaki  
city  
museum

主催：川崎市市民ミュージアム  
上映協力：(株)KADOKAWA  
企画：藤村豪 & 内野清香

会場：川崎市市民ミュージアム 1階 映像ホール  
日時：2014年12月12日(金)、13日(土)、14日(日)、20日(土)、21日(日)、  
23日(火・祝)、26日(金)、27日(土)、28日(日) 計9日間  
【展示】9:30–17:00  
【映画上映】各日11:30–14:00 各日2回上映  
\*13日・23日・27日は11:30の回のみ。上映後にイベントを実施します。

料金：【展示】無料  
【映画上映】一般1200円、大学生・高校生・65歳以上1000円、  
小中学生・市民ミュージアム友の会会員800円  
幼児(未就学児)、障害者手帳・身障者手帳・療育手帳をお持ちの方および  
その介助者1名、被爆者手帳をお持ちの方 無料  
※各種割引料金をご利用の方は、生徒手帳・学生証・障害者手帳など、  
証明できる書類等を必ずご提示ください。  
※チケットはご入場の際に販売します。前売り券はありません。  
※この上映ではスカラチケットはご利用になれません。



KAWASAKI  
CITY  
MUSEUM

川崎市市民ミュージアムでは、現代美術の若手作家の支援・育成をさらに一歩深めた試みとして、藤村豪&内野清香によるフランソワ・トリュフォー監督の映画作品「ドワネル5部作」をテーマにした作品を展示し、合わせて彼らの創作の源泉であるトリュフォーの5作品と、トリュフォー監督にまつわるドキュメンタリー映画1作品を上映します。また、展示作品と映画に関連したイベントを実施します。映画館と美術館が一体となる空間で、新たな作品体験を味わってください。



「ここからそれは見えるかな?」



「すべての火は火」

## 関連ワークショップ

### 塗り替えられた過去についての本

本展の関連企画として、フランソワ・トリュフォー監督作品「逃げる恋」内の過去の出来事を塗り替えるワンシーンをもとに、参加者から、自身の塗り替えられた過去の出来事についての話を集め、製本化するワークショップを開催します。

日時 11月16日(日) 13:00-16:00  
 会場 市民ミュージアム 3階 第2研修室  
 講師 藤村豪&内野清香  
 参加費 500円  
 詳細は川崎市市民ミュージアムまでお問い合わせください。

## 上映スケジュール(12月)

12日(金)	11:30- ふたりのヌーヴェル・ヴァーグ ゴダールとトリュフォー(97分) 14:00- 大人は判ってくれない(99分)+アントワヌとコレット(29分)
13日(土)	11:30- 夜霧の恋人たち(90分) 上映後「映画を見終えた人々の出来事」
14日(日)	11:30- 家庭(100分) 14:00- 逃げる恋(94分)
20日(土)	11:30- ふたりのヌーヴェル・ヴァーグ ゴダールとトリュフォー(97分) 14:00- アントワヌとコレット(29分)+夜霧の恋人たち(90分)

21日(日)	11:30- 家庭(100分) 14:00- 大人は判ってくれない(99分)
23日(火・祝)	11:30- 逃げる恋(94分) 上映後「映画を見終えた人々の出来事」
26日(金)	11:30- 夜霧の恋人たち(90分) 14:00- 家庭(100分)
27日(土)	11:30- 大人は判ってくれない(99分) 上映後「映画を見終えた人々の出来事」
28日(日)	11:30- ふたりのヌーヴェル・ヴァーグ ゴダールとトリュフォー(97分) 14:00- アントワヌとコレット(29分)+逃げる恋(94分)

## 大人は判ってくれない

LES QUATRE CENTS COUPS  
 (フランス/1959年/モノクロ/スタンダード/35mm/99分)  
 出演:ジャン=ピエール=レオー、クレール=モーリエ

トリュフォーの処女長編作でゴダールの「勝手にしやがれ」と並ぶヌーヴェル・ヴァーグの金字塔。オーディションで100人近い候補者のなかから選ばれたJ=P・レオー扮する不良少年アントワヌ・ドワネルの物語。学校をさぼって映画館や遊園地で遊び、盗みを働いては少年鑑別所送りに……。少年の瑞々しい表情やユニークなふるまいを巧みにすくいあげた名手アンリ・ドカの撮影は息をのませる。ラストシーンの鮮烈なイメージは永遠に忘れたい。

## アントワヌとコレット(「二十歳の恋」より)

ANTOINE ET COLETTE (L'AMOUR À VINGT ANS)  
 (フランス・イタリア・日本・ドイツ・ポーランド/1962年/モノクロ/  
 シネマスコープ・サイズ/35mm/29分)  
 出演:ジャン=ピエール=レオー、マリー=フランス=ピジェ

「大人は判ってくれない」で鮮烈なデビューを果たしたトリュフォーと主演のJ=P・レオーが再び組んで作った「アントワヌ・ドワネル」の第2章。少年鑑別所を出たドワネルはレコード会社に勤務。ある日音楽会でコレットと出会いひと目惚れ。何度アタックしてもつれなくされる彼は、彼女と仲良くなろうと一計を案じるが……。5人の監督によるオムニバスの一編として製作された本作は、初恋にときめく青年の途な純情をユーモアたっぷりに描いた好編。

## 夜霧の恋人たち

BAISERS VOLÉS  
 (フランス/1968年/カラー/スタンダード/35mm/90分)  
 出演:ジャン=ピエール=レオー、デルフィニス=セイリグ、クロード=ジャド

「アントワヌ・ドワネル」の第3章。兵役を終え社会復帰したアントワヌ。ガールフレンドの父親に紹介されホテルのフロント係として働き始めるが、ある日浮気の調査をやってきた男に気に入られ探偵業に転職。潜入捜査で出会った美しい人妻にまたもやひと目惚れ。極端な心理描写を排し、縦横無尽にレオーを追いかけるカメラ、文学や音楽の引用、美しいパリの風景……。おもちゃ箱をひっくり返した様な青春のひとコマが楽しい一編。

## 家庭

DOMICILE CONJUGAL  
 (フランス・イタリア/1970年/カラー/ヴィスタヴィジョン・サイズ/35mm/100分)  
 出演:ジャン=ピエール=レオー、クロード=ジャド

「夜霧の恋人たち」のラストで仲睦まじかったアントワヌとクリスチーナはとうとう結婚、男の子も生まれ親子の生活が始まる。パイオリン教師の妻と違い、相変わらず恋も仕事も移り気なアントワヌは仕事場で知りあった日本人キョーコに興味を、またしても夫婦仲は険悪に……。エリント=ルビッチやジャック=タチにオマージュを捧げ、ユーモアたっぷりに夫婦の生態を可視化した隠れた傑作。パリコレのモデルだった松本弘子のゲスト出演も注目。

## 逃げる恋

L'AMOUR EN FUITE  
 (フランス/1979年/カラー/ヴィスタヴィジョン・サイズ/35mm/94分)  
 出演:ジャン=ピエール=レオー、マリー=フランス=ピジェ

「アントワヌ・ドワネル」の最終章。クリスチーナと協議離婚したアントワヌはレコード屋で働くサビーヌと恋仲に。ある日駅で初恋の人コレットに偶然出会い……。過去に作られた4本の名場面を巧みに挿入し、少年時代から中年にさしかかった現在までを自由に行き来する異色の構成が、トリュフォーの人生と俳優たちの人生を合わせ鏡のように照らしあわす。流れゆく月に思いを馳せ、アラン=スジョンの歌声で幕を閉じる見事な完結編。

## ふたりのヌーヴェル・ヴァーグ ゴダールとトリュフォー

DEUX DE LA VAGUE  
 (フランス/2010年/モノクロ/カラー/Blu-ray/97分)  
 出演:フランソワ・トリュフォー、ジャン=リュック=ゴダール、  
 ジャン=ピエール=レオー、イジルドル=ベスコ

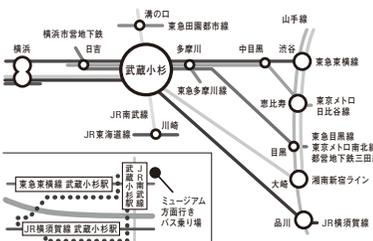
1950年代の終わりにフランス映画界に登場したヌーヴェル・ヴァーグの誕生をひもとき、2人の伝説的人物、フランソワ・トリュフォーとジャン=リュック=ゴダールの友情と決裂を描くドキュメンタリー。「大人は判ってくれない」「勝手にしやがれ」といった作品や、2人が共作した「水の話」のシーン、インタビューなど、貴重な映像をふんだんに交え、双方の作品に出演したジャン=ピエール=レオーとの関係なども映し出す。

## 関連イベント「映画を見終えた人々の出来事」

「もし上映が終わった後の劇場にいたことが出来たら、私たちはどのように振る舞うのだろうか?」

通常の映画館では上映終了後の客席は閉じられ観客は退場を促されますが、このイベントでは上映終了後の劇場が、映画を見た人々が自由に振る舞える場所となります。同日、同じ場所で映画を経験した人々の日常が劇場に持ち込まれる時にそこは一体何が起ころうのでしょうか。

参加費:無料 ◎本イベントは当日11:30-の上映に来館された観客の皆様を対象とします。詳細は当館webサイトをご覧ください。



## 交通案内

武蔵小杉駅  
 (JR南武線、横須賀線・湘南新宿ライン、東急東横線・目黒線)  
 ◎北口1番バス乗り場から市バス(約10分)  
 [杉40]市民ミュージアム行 終点下車  
 [杉40]中原駅行「市民ミュージアム前」下車  
 [溝05]溝口駅行「市民ミュージアム前」下車



お問い合わせ 川崎市市民ミュージアム  
 神奈川県川崎市中原区等々力1-2(等々力緑地内)  
 tel:044-754-4500(代)

www.kawasaki-museum.jp